



中央市民サービスセンター

# センターズ だより

令和2年  
3月

No.04

[発行] 中央地域づくり協議会



〈千秋公園からの千秋、保戸野、八橋、泉、寺内地区〉



## 情報発信による地域活性化

中央地域づくり協議会 会長 宇佐見 昭一

日頃、中央地域づくり協議会にはご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。  
今年の冬は雪が少なく、暖かで穏やかな春を迎えようとしております。  
昨年は令和の元号となり、早いもので令和2年オリンピック開催の年となりました。

中央地域づくり協議会が発足して5年、センターズが開館して4年目となり、皆様のご協力のお陰をもちまして、センターズも順調に運営が出来ている事に感謝申し上げます。

昨年ご報告致しました中央地区のまちづくりについて協議を重ね、中央地区には情報発信の仕組みが不足していることに気が付き、令和元年7月から、まちづくり専門員（石井宏典氏）が中心になり、国際教養大学・秋田大学の学生の協力を得て情報発信ツール「まちプラあきた中央」のホームページの作成を行っております。中央10地区の「地区のシンボル写真・人口・世帯数・地区の歴史・食・名物・ハザード情報・地区風土（祭・イベント）」等の情報発信をすることが地区の活性化、担い手の確保に役立つと思っております。

皆さまのもとに関係する学生がお邪魔し、お話をお聞きするかもしれません。その際は是非ご協力をお願い致します。皆様にお披露目できる日が近いと思っておりますのでご期待ください。

近年、頻繁に自然災害が発生しており、多くの方が犠牲になり、また避難生活を送っております、明日はわが身と思い日頃の災害に対する準備・心構え・ハザードマップの確認・自助・共助など備えておければ良いかなと思っております。

協議会では皆様のご協力と知恵をお借りしながら、地域と一緒に地域づくりを提案していきたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

# 中央地域におけるまちづくり



中央地域づくり協議会  
まちづくり専門員  
石井 宏典

北海道函館市出身 31歳  
平成20年 アメリカ留学                      平成26年 ロシア留学  
平成22年 国際教養大学卒業              平成29年 秋田市地域おこし協力隊就任  
平成23年～28年 三井住友銀行勤務        平成30年 まちづくり専門員就任

2018年6月に中央地域づくり協議会のまちづくり専門員に就任して以来、約1年半にわたり、協議会メンバーの方々や地域住民の方々にご支援いただきながら、秋田市中心部の「まちづくり計画」の策定に関わらせていただきました。

現在、中央地域づくり協議会では、秋田市の市民協働サポート交付金を活用して、「まちプラあきた中央」というホームページと携帯アプリを開発しており、秋田市中心部を構成する10地区それぞれの魅力やイベント情報などを、地域の大学生や高校生が取材をして、デジタル上で情報発信していく仕組みの構築に取り組んでいます。

「まちプラあきた中央」では、地域情報の発信を通じて「人」と「地域」の接点をつくり、地域活動やイベントへの参加を通じて「人」と「地域」が繋がるきっかけをつくります。そして、その繋がりが育む「地域への想い」から、まちづくりは始まっていくのだと思います。

秋田市中心部のよりよい未来を願って、これからも尽力して参ります。

## 「まちプラあきた中央」について

### ●「まちプラあきた中央」とは

「まちプラあきた中央」とは、秋田市中心部における「情報」と「人」の新たな循環を生み出すことで、住民主体の地域づくりを推進する「情報プラットフォーム」です。

人口減少や少子高齢化、核家族化や個人の価値観の多様化などにより、「人」と「地域」のつながりが希薄化している現代社会において、主体的に地域づくりに取り組んでいるのは、一部の人たちに限られているのが現状です。また、自分が暮らす地域との接点を一切持たない人も増加傾向にあります。

一方で、「地域のことをもっと知りたいが、デジタル上に情報がない」「地域の役に立ちたいが、何をしたらよいか分からない」「地域活動に参加したいが、きっかけがない」という声が聞こえてくるのも事実です。

- ・「人」と「地域」の接点をつくること
- ・「人」と「地域」のつながりを深めること

この2つが、地域づくりにおいて最も重要な鍵となります。

「まちプラあきた中央」では、地域情報の発信を通じて「人」と「地域」の接点をつくり、地域活動やイベントへの参加を通じて「人」と「地域」が繋がるきっかけをつくります。そして、その繋がりが育む「地域への想い」から、地域づくりは始まっていきます。

### ●「まちプラあきた中央」で出来る3つのこと

#### ①地域を知る

秋田市中心部は10地区で構成され、地区ごとに独自の豊かな歴史文化や伝統、地域資源があります。そうした中央地域の魅力を地区単位で「食べる」「歩く」「知る」「参加する」の4つの切り口で発信していきます。

#### ②地域と繋がる

秋田市中心部では、年間を通じて様々な伝統行事・お祭り・イベントが開催されています。地域と繋がるための入り口として、カレンダーから興味関心のあるものを選んで「参加する」こともできますし、運営サポートメンバーを募集している場合には「仲間に加わる」こともできます。

#### ③地域を創る

「まちプラあきた中央」に掲載してほしい地域情報や、中央地域で開催したいイベントの企画提案などを、皆さんから「発信する」ことができます。

## ●ホームページの紹介

- トップ画像では、中央地域10地区のシンボルとなる写真をスライドショーで紹介します。



- 中央地域10地区をそれぞれ、地区毎に紹介します。(以下、保戸野地区の例)



## ●保戸野地区の例

### ①知る：保戸野地区の歴史（ホームページより抜粋）

歴史的に見ると保戸野は佐竹氏の居城である久保田城の西側に位置した城下町と近郊農村地区を前身とする。当時一般的には旭川より東側が内町（侍町）西側が外町（町人町）と分けられていたが、保戸野はお城に近接した地であり、また、羽州街道が通る城下町への入り口であるため本来、町人町の区分なのだが、侍町とされた。（中略）

地区のキャッチフレーズとしては『仁風の里 保戸野』である。これは第6代秋田市長だった井上広居氏（1916年～1933年 在職）より地域に贈られたことば「里に仁風有り 即ち太和」からのもので、意味は「保戸野は思いやりの心に富む人々の住む里であり、皆が仲むつまじい」というもの。

### ②食べる：保戸野地区の「食」

- せきやのうなぎ
- 高砂堂のバナナポート（秋田市で最初に作られたもの）
- カスタードリーフのシュークリーム
- フルックリーのフルーツサンド など

### ③歩く：保戸野地区の「名所・名物」

- 鷹の松
- 六道の辻
- 通町橋平和祈念像
- 石敢当
- 秋田聖救主教会聖堂
- 武家屋敷
- 高砂堂店舗
- 山下金物店（プロユースの調理器具、鍵のトラブル解消、包丁研ぎ、網戸の張り替えサービスなどなんでもOKの金物屋さん）
- 丸富八百屋（地域密着、市場のような軒先を使った売り方もユニーク）

### ④参加する：保戸野地区の「行事・イベント」

- 地口絵灯ろう祭り：勝平神社のお祭りである毎年5月12日、13日に行われる。境内や参道等に約170個近い絵灯籠が飾られる。この絵灯籠は社会風刺、政治などその時の世相をネタに描かれたもの。クスツと笑えるものも多い。

### ※地区の皆さまへのお願い※

現在、中央地域10地区それぞれの「地区紹介ページ」を保戸野地区のような形で作成したいと考えております。つきましては、以下の項目について、情報をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

- 地区のシンボルとなる写真の送付（他の9地区の写真と見比べた時、どこの地区かはっきりわかるもの）
- 地区のあらましと歴史
- 食を楽しむ（ここのお店、この商店のこれが美味しい）
- 地区の名物・名所（散歩がてらこの景色、建物を見に行くと面白い）
- ハザード情報（震災などが起きた時の避難場所）
- 地区風土（お祭り情報、参加した方がいい通年または限定的なイベント）

「まちプラあきた中央」は、ホームページ版と、スマホアプリ版の2つを用意しております。どちらも、まだ公開はしていませんが、携帯で下記バーコードを読み取っていただくと、作成途中のホームページをご覧いただけます。



【お問合せ先】中央地域づくり協議会 まちづくり専門員 石井 宏典 E-mail: hironori141@gmail.com 電話: 090-7053-5044

# 地域活動紹介

## 旭南地区

### 30周年の節目を迎えるにあたって

旭南地区町内会連合会 会長 佐々木 政昭

毎年恒例の旭南地区新年祝賀会が去る1月12日（日）、ご来賓を迎え、町内会会員等、総勢50名が参加のもと旭南コミセンで開催されました。

今年は、初の試みとしての着席タイプのケータリング料理形式は若い参加者からも大変好評の上、ミラーボールを設置したことにより照明効果も出て、パーティームードの中での終始和やかな会になりました。

旭南地区町内会連合会は今年度創立30周年の記念すべき節目を迎えました。

著しい少子化に伴う小学校統廃合問題、そして全国トップをひた走る高齢化率等、町内会や地区を取り巻く環境が悪化する中において、町内会連合会への期待感が高まっており、地区づくり（まちづくり）の必要性を強く感じる状況になっております。

地区住民にお約束してあるSNSを使った地区情報の共有化を早く進めなければならないと思っております。



旭南地区新年祝賀会

## 旭北地区

### 百人で楽しもう

旭北地区町内会連合会 会長 藤田 勝

令和元年8月25日に旭北地区コミュニティセンターでは「百人で楽しもう中央地域親睦健康麻雀大会」が行われました。

旭北地区コミュニティセンター 15周年記念事業として、管理運営委員会の長谷川淳司会長、木谷久光副会長が中心となり、中央地域コミュニティセンターを利用している麻雀愛好者に参加を依頼したところ、104名が参加し、26卓半チャン4回戦の熱戦が行われ、下記の方々表彰式されました。その後は各地区のみなさんとの懇親会で親睦を深め、楽しい1日を過ごすことができました。

表彰された団体・個人の方々は次のとおりです。



<男子団体>	<女子団体>	<男子個人>	<女子個人>
優勝 旭南B	優勝 明德	優勝 佐藤 功 (寺内)	優勝 成田 敬子 (保戸野)
2位 寺内A	2位 川尻	2位 橋本 英夫 (旭北)	2位 仁部 アイ (旭北)
3位 旭北A	3位 旭北A	3位 栃内 誠悦 (旭南)	3位 臼井 勝子 (茨島)

## 茨島卸町地区

### 茨島コミセン祭り

茨島卸町地区町内会連合会 会長 斉藤 誠

「つながろう地域と・・・ 深めよう絆を・・・」をテーマに令和元年10月19日（土）にコミセン祭りが開催されました。

主催は茨島コミュニティセンター管理運営委員会、協賛茨島・卸町地区町内会連合会、茨島コミュニティセンターサークル連絡協議会（16サークル）が加わり新たな組織となり、企画運営を進めてまいりました。

開催日の前日は地域や各サークルの皆さんの絵画・書・写真・手芸作品・小盆栽・洋服などの創作品を展示する設営等の準備を行いました。

当日は小雨の降る中、8時前にはコミセン役員はじめ各町内会協力員などの関係者等が集まり開会式終了



しました。館内の作品の自由参観が開始され多くの方が熱心に鑑賞、中でも小盆栽はプロ級の立派な作品が多く目を引いていました。

サークル同好会による演芸発表も行われ、民謡の大御所二代目浅野梅若社中の出演に、プロの醍醐味を感じて会場は大喜びでした。

他の会場ではお茶のお手前の披露や野菜・果物の即売会、お昼には来館者の方に「かしわそば」200食を準備し、無料提供いたしました。

延べ400名を超える方々に足を運んでいただき、コミセン祭りを通じ役員や地域の方々や各サークルの皆様との交流の中で、さらに絆を深めることができました。反省として、音響設備や展示室の照明の改善などさまざまな意見が出されました。

今回の計画から運営にご協力をいただいた関係各位に心より感謝申し上げます。今後とも皆様に親しまれ、信頼されるコミセンを目指し努力を重ねてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## 寺内小学区

### ふれあい元気タイム

寺内小学区社会福祉協議会 会長 菊地 峯生

寺内小学区社会福祉協議会が主催する「ふれあい元気事業」の一つとして、11月14日と15日の両日、ユーランドホテル八橋で「ふれあい元気タイム」を開催しました。

今年で9年目になる行事ですが、地区内の各町内から高齢者の方々が100人余り集まっていたいただき、男性4人のコーラスグループの歌により全員で歌ったり、民謡の浅野梅若一門による手踊りや民謡を楽しみました。その後、懇親会を行い、楽しいひとときを過ごしました。



## 泉地区

### 園児とのふれあい

泉地区社会福祉協議会 加賀 正子

泉地区社会福祉協議会が毎月開催している高齢者の「友遊ふれあいサロン」。その参加者45名は12月上旬、地域内の子ども園を訪問し、年長児達と交流しました。クリスマスツリー作りや、全員で輪になってのダンスを楽しみ、園児達の役者さながらの熱心な寸劇の演技には目頭を熱くしました。

参加者のみなさんは、園児からあふれんばかりのパワーをもらい、園児には高齢者を慈しむ心が育ったと思います。参加者達は心穏やかな一日を過ごしました。



## 八橋地区

### 八橋地区行事のあらし

八橋地区社会福祉協議会 会長 熊谷 栄助

八橋の行事の主なものは、春の住民大運動会（八橋小と合同）、八橋の夏祭り、おでんつあん（八橋人形）祭り、敬老会、そして10月末のコミセンまつり等です。

コミセンまつりは準備等がなかなか大変で、しばらく見送ってきましたが、今年度ようやく第3回目を迎えました。

今後、毎年開催していきたいと思えます。来場者数は今のところセンターまつりの10分の1程度ですが、今後は回数を重ねるごとに来場者が増えると考えております。



## 秋田市生涯学習奨励員協議会

### 生涯学習について

秋田市生涯学習奨励員協議会 会長 加藤 長二郎

暖かい春がもうすぐです。

現在、秋田市中央地域には秋田市より委嘱された各学区3名からなる計24名の生涯学習奨励員がおります。

以前は、生涯教育と言われておりましたが、自ら学ぶ事の大切さから生涯学習と呼称されております。

中央市民サービスセンター（センタース）や、地区コミセンを会場に地域住民の趣味、スポーツ、学究などに勤しむ様々な学習意欲を高め、生きがいのあるくらしの推進を図っております。

各学区の奨励員は、地域とのつながりを大事にした各種講座を企画し、秋田市「広報あきた」や、町内会の回覧などで告知し、多くの参加の呼びかけをしております。

令和元年度は、認知症予防のための体操、劇団「河辺わさび座」による地域の絆をテーマにした公演のほか、味噌づくりや乾麺づくり体験も行いました。

今後も皆様からの参加をお待ちいたしております。

今年は東京オリンピックが開催され、日本選手の活躍が楽しみです。



## 秋田市社会福祉協議会

### 地域住民の生活支援を担って

秋田市社会福祉協議会 地域支援課 生活支援コーディネーター 佐藤 元子

平成29年8月から八橋、旭北地区の生活支援コーディネーターを担当しております。

自分の住む町で、自分らしく生き生きと暮らせる支え合いのある地域づくりを進める等の役割を担っております。

携わったこの2年半で、地区社協はじめ、老人クラブなどの各種団体での聞き取りや、町内単位の座談会開催、住民へのアンケート等から、この地域には生活上でどんな課題があるのか、どんな資源があるのか、住民はどんなことに興味あるのかといったことを把握してきました。

地域の委員会のような「協議体」であり、それについて話し合いました。八橋・旭北とともに「集いの場」、「生活支援」、「見守り」の3点に取り組み始めました。

その結果、八橋では男性の料理教室、旭北ではラジオ体操のつどいを始めました。

これからは、「生活支援」の中の支え合い活動を築けるよう、要望の把握や担い手の発掘に取り組もうと考えております。

住民の皆様からのご意見もお待ちいたしております。



## 川尻地区

### 川尻の鹿嶋まつり

川尻地区社会福祉協議会 会長 碓屋 隆志

秋田市の無形民俗文化財に指定されている「川尻の鹿嶋まつり」は、毎年6月の第三日曜日に行われております。

鹿嶋まつりは明治41年頃から行われたとの記録があります。

それ以来、昭和30年頃までは地区内5町内で行われておりましたが、現在は毘沙門町、肝煎町、西表町の3町内で行われております。



鹿嶋まつりの3町内

まつりでは、五穀豊穰・無病息災・家内安全等を祈願し、葦で編んだ鹿嶋船にこれらの願いを小旗に描いて鹿嶋人形とともに飾り、町内をまわって最後には新川に流していましたが、現在は川に流さないようになりました。

まつりには、町内の子供たちや、他の町内で参加希望の子供たち、町内の実行委員などが参加しておりますが、最近は少子化の影響で参加する子供が減少し、まつりの存続に一抹の危機を感じている昨今です。



川尻町内会活動支援アプリ説明会の懇親会で、大学生よりスマホの説明を受ける（1月16日）

## 保戸野地区

### 保戸野地区体育協会について

保戸野地区体育協会 会長 松木 仁

当協会は毎年小学校との合同運動会、グラウンドゴルフ、登山、フロアカーリング等の行事を実施しています。今回は登山について紹介します。登る山



保戸野地区町内連合会新年懇話会  
（1月18日）

は日帰りが出来、初心者でも登れ、参加者が達成感を味わえ、温泉が近くにある山です。これまで鳥海山、秋田駒ヶ岳、栗駒、田代岳、真昼岳、男鹿三山等を制覇し、今年は9月末に森吉山に登りました。紅葉には少し早かったのですが、天気も最高で色付いた木々と周辺の山々が織りなす大パノラマを堪能でき、全員大満足で帰ってきました。今後も秋田の豊かな自然を、健康づくりに活かしていきたいと思います。



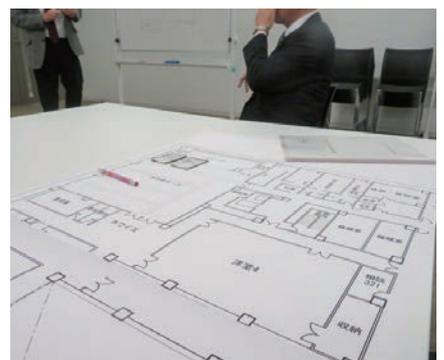
## センターストピックス



協働サポート交付金協定締結式



まちづくりシンポジウム



避難場所開設運営訓練



中央地域コミセン連絡会議



ナイスミドルカレッジでの  
特殊詐欺防止講座



秋田市学校適正配置  
中央地域ブロック会議



市制施行130周年記念関連事業

# 第4回センタースマツリ

11月2日(土)・3日(日)

(来場者数 1,721人)



わらび座特別公演



わらび座特別公演



笑いヨガ



秋田吹奏楽団演奏



チャリティーバザー



お茶会



作品展示



作品展示 (市長も来場されました)



作品展示



ダンスパーティー



サークル芸能発表



サークル芸能発表



サークル芸能発表



親子おやつづくり体験コーナー (調理室)



喫茶コーナー (市役所1階 市民ホール)



秋田市中央市民サービスセンター  
中央地域づくり協議会 自主事業

# 昭和の秋田 写真展

「写真で振り返る秋田の懐かしの街並」



開催期間：令和2年 3月23日(月)～27日(金)

展示時間：午前9時～午後5時

ただし、3月23日(月) 午後1時～午後5時  
3月27日(金) 午前9時～午後4時

会場：秋田市役所1階 市民ホール



主催：中央地域づくり協議会  
秋田市山王一丁目1番1号 秋田市役所3階  
TEL 018-888-5644

共催：一般社団法人 ディーコネクション

協力：株式会社 岩田写真  
TEL 018-834-5015

後援：秋田市

## 中央地域づくり協議会とは

秋田市役所内にある中央市民サービスセンター（愛称 センターズ）施設の運営・管理を市から指定管理者として委託されております。秋田市の中央地域における住民自治の担い手となり、住民相互の交流をはかりつつ、地域の諸課題の解決に取り組み、住みよい地域づくりを推進することを目的として、中央地域の中通・築山・保戸野・旭北・旭南・川尻・茨島・泉・八橋・寺内小学区の10地域の町内会連合会や、社会福祉、ご利用者、スポーツおよび子育て関係団体等の代表者が理事として構成されております。平成27年8月28日に設立され、平成28年5月6日にセンターズが生涯学習機能等を備えた新組織として活動が開始されました。

## 中央地域づくり協議会 理事・監事

役職	氏名	地区	所属団体
会長	宇佐見 昭一	保戸野	保戸野地区町内会連合会理事
副会長	佐々木 政昭	旭南	旭南地区町内会連合会会長
副会長	木山 二郎	中通	中通中央地区町内会連合会会長
常任理事	岩谷 政良	八橋	八橋地区町内会連合会会長
常任理事	藤田 勝	旭北	旭北地区町内会連合会会長
常任理事	菊地 峯生	寺内小	寺内小学区社会福祉協議会会長
常任理事	碓屋 隆志	川尻	川尻地区社会福祉協議会会長
常任理事	保坂 稔	利用者	中央市民サービスセンターサークル協議会会長
理事	佐藤 和雄	泉	泉学区町内会連合会副会長
理事	時田 博	泉	泉地区社会福祉協議会会長
理事	池田 實	中通	中通地区民生児童委員協議会会長
理事	佐々木 洋吉	築山	築山地区民生児童委員協議会会長
理事	伊勢谷 順一	築山	築山学区町内会長連絡協議会筆頭幹事
理事	須磨 満彦	旭北	旭北地区町内会連合会理事
理事	淀川 登	旭南	旭南地区町内会連合会副会長
理事	三浦 五祐夫	川尻	川尻地区町内会連合会副会長
理事	熊谷 栄助	八橋	八橋地区社会福祉協議会会長
理事	斉藤 誠	茨島	茨島卸町地区町内会連合会会長
理事	大友 進	茨島	茨島卸町地区社会福祉協議会会長
理事	松木 仁	保戸野	保戸野地区体育協会会長
理事	宇佐美 洋二郎	寺内小	寺内小学区町内会連合会副会長
理事	高橋 静子	利用者	中央市民サービスセンターサークル協議会副会長
理事	加藤 長二郎	地区団体	秋田市生涯学習奨励員協議会会長
理事	木谷 久光	地区団体	中央ブロック体育協会連絡協議会会長
理事(兼務)	池田 實	地区団体	中央地域子育て支援ネットワーク連絡会会長
監事	平川 秀悦		中央市民サービスセンターサークル協議会
監事	石田 達郎		山王六丁目町内会会長
事務局長	藤田 和己		

## センターズ施設ご利用案内

文化活動やスポーツ、住民自治活動など、幅広くご利用できます。  
ご利用の希望する日の前月1日から予約をお受けいたします。

### 2019年 センターズ利用状況 (平成31年1月～令和元年12月)

利用団体数 10,144団体 利用者数 110,547人

#### ■開館時間

9:00～21:00 (年末・年始を除く)

#### ■ご利用申し込みは

中央地域づくり協議会 TEL 018-888-5644

窓口での申し込み、または秋田市公共施設案内・予約システムからも申し込みできます。(予約システムからの申し込みは窓口での登録が必要です。)



施設利用窓口

## ◎ご利用料金

- ・部屋の利用料は、営利目的でない場合は無料です。
- ・営利目的や、間接的営利目的の場合は、次のとおり有料になります。
- ※営利・非営利は施設利用受付にて判断させていただきます。(1時間あたり)

多目的ホール	2,090円
和室	1室 210円
洋室(※洋室4を除く)	1室 210円
洋室4	1,250円
音楽室	410円
調理室	410円
陶芸工作室	410円

- ・次の設備を利用する際は、営利・非営利問わず設備料金が必要となります。(1時間あたり)

多目的ホール	照明器具	50円
調理室	調理器具	150円
陶芸工作室	陶芸窯	260円

## 中央地域づくり協議会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 (市役所3階)  
TEL 888-5644 FAX 888-5645  
ホームページ <http://centers.ec-net.jp/>

